

寸劇や授業で鳥獣対策を身近に
 — 鳥獣被害・被害対策はみんなの問題 —



浜松地域鳥獣被害対策協議会 事務局
 浜松市農業振興課 森 真也

浜松市のご紹介



- ▶ 面積 1,558.06km²
 (全国2位)
- ▶ 人口 802,527人
- ▶ 行政区 7区
- ▶ 気候
 温暖、長い日照時間。
 冬は乾いた強風が吹く
 (遠州のからっ風)
- ▶ 農業
 出荷品目数 177品目
 農家数 11,954戸
- ▶ マスコットキャラクター
 出世大名家康くん



野生動物による農作物被害

天竜区

主にシカ、イノシシ、サルによる森林被害、農業被害



食害にあった水稻

北区

主にイノシシ、ハクビシンによる農業被害(みかん)



食い散らかされたミカン

増え続ける野生鳥獣被害に積極的な防護対策を行う必要
→鳥獣被害対策協議会の発足

▶ 3

協議会の組織について

▶ 平成22年度発足

▶ 会員構成

- ・浜松市(農業振興課、林業振興課)
- ・静岡県(農林事務所、森林林業研究センター)
- ・林野庁(森林管理署)
- ・農協(管内3農協)
- ・森林組合(管内6組合)
- ・鳥獣保護管理員
- ・捕獲実施主体(猟友会等)

▶ 事務局は市・農業振興課が担当



総会の風景

▶ 4

協議会の事業内容

- ▶ 被害をもたらす野生鳥獣の個体数調整に関する事業
- ▶ 被害の防除に関する事業
- ▶ 生息環境の管理に関する事業
- ▶ 被害状況の分析と総合的被害対策の検討
- ▶ 鳥獣害対策に関する情報交換

→防護対策が主な事業



※捕獲活動については、猟友会等の協力に基づく市の事業(報奨金)として実施

▶ 5

協議会の事業内容

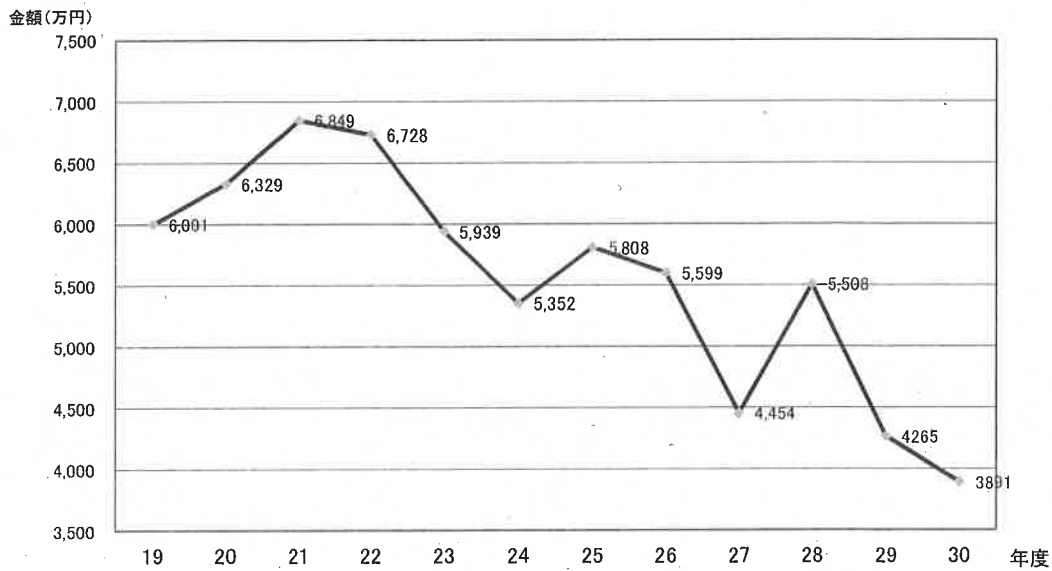
- ▶ 整備事業
国庫補助を活用した自主施工による防護柵整備



- ▶ 推進事業
被害防止活動の推進
〔協議会の活動(研修会、寸劇 等)
鳥獣被害対策実施隊の活動(防護柵点検、被害調査 等)〕

▶ 6

浜松市における鳥獣被害金額の推移



- ★農作物被害額は緩やかな減少傾向。防護柵・捕獲活動などの対策が効果を発揮。
- ★被害や高齢化等に起因する離農で、被害地域の農業産出額自体が減っている可能性も

▶ 7

被害防止対策普及への課題

被害は減少傾向にあるものの…

残る課題

- ▶ 対策に係るマンパワーが不足
- ▶ 住民間の意識格差
(農業者⇔それ以外、世代間格差…)
- ▶ 人の入れ代わりにより活動が中断するおそれ



意識を変えるのは難しい…
人を急に増やす事も難しい…

でも、少しずつでも

- ・被害防止対策に取り組める人を増やしたい！
- ・持続した対策ができるようにしたい！

▶ 8

課題解決に向けてのアプローチ

協議会の活動方針

- ▶ 地域の住民自らが、地域ぐるみで対策できるよう支援
→ **地域との連携**を重視
- ▶ どの世代にも、鳥獣被害対策が身近な問題として、
自然に意識されることを目指す
→ **持続性のある対策**実践のため若年層をターゲット化



時の担当: H氏

寸劇はどうだろう？
子ども自身の意識啓発に
なるし、家庭会話の中で
更なる拡散が期待できる！

▶ 9

寸劇「森と畑と動物たち」について

- ▶ 平成22年から鳥獣被害が大きい地域の幼稚園で実施
(年1～2箇所)
- ▶ 協議会構成団体の職員が動物に扮し、防護の大切さや
動物と人が住む場所を分けることの重要性を伝える
- ▶ 気を付けていること
 - ・子どもに興味を持ってもらう
 - ・動物をワルモノにしない
 - ・子どもとコミュニケーションをとる
(子どもも劇に参加)



被害にあった幼稚園のサツマイモ畑

▶ 10

寸劇の様子（開幕）



舞台をおじいさん、おばあさんが耕作する畑と動物たちが住む森に見立て、そこに孫が遊びに来る設定。

ほとんどのスタッフは協議会構成員（市・県・農協職員）で、ナレーションは園の先生にお願いしています。

▶ 11

寸劇の様子（畑にやってくる動物たち）



おじいさん、おばあさんと孫が去った後、畑にある美味しそうな野菜や果物を見つけ、歓喜する動物たち。

入れ代わり立ち代わり、さまざまな種類の動物が来ます。

舞台セットには時に本物の野菜や果物を置き、実際に食べてしまいます。
（なるべく旬のもので、葉などを落とさず収穫時点の姿で）

▶ 12

寸劇の様子 (対策)



動物に荒らされた畑を見て、悲しみながらもどうしたらよいか、園児と一緒に考える
(観客席と掛け合い)

柵を張って動物たちに「入っていけない場所」と覚えてもらうことに。
写真は劇中、一緒に柵を設置する子どもたち

▶ 13

寸劇の様子 (解決)



突然の畑の柵出現に戸惑い、考え込む動物たち。やがて意図に得心し、もと居た森へ帰っていきます。

最後は登場動物のクイズ。野生動物の食べ物や特徴、見分け方などを、楽しみながら学習。

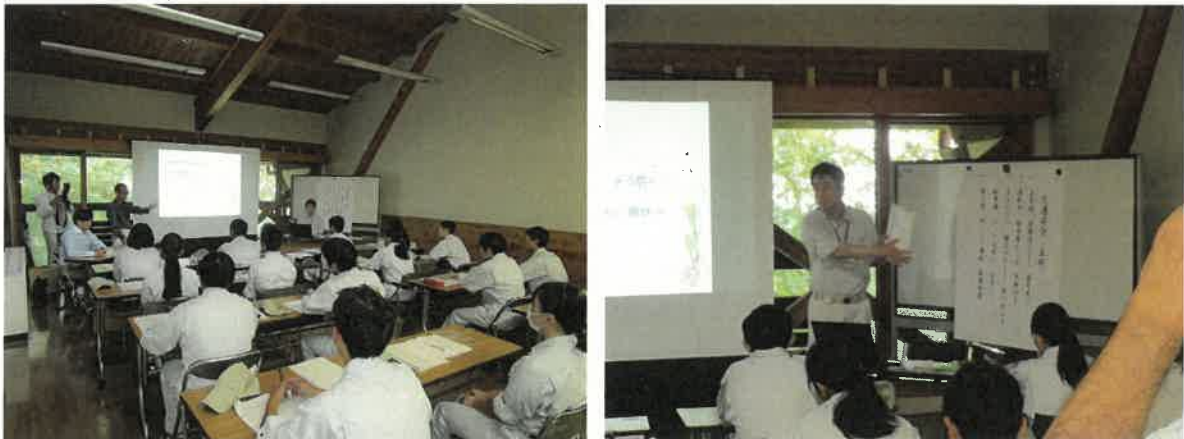
▶ 14

高校生を対象とした授業

- ▶ 高校の先生からの相談をきっかけに、平成27年度スタート
- ▶ 対象：中山間地に位置する高校の2年生
※生物多様性の保全や野生動物の生理生態を学ぶ
- ▶ 事業内容
座学
内容 ・実施隊員から被害の実態に関する講義
・動物の生態～電気柵など対策の基礎知識
実地研修
内容 ・防護柵の設置、わなの仕組み など

▶ 15

高校生を対象とした授業（座学）



左) 鳥獣被害対策実施隊員(農家)による、鳥獣被害とその対策に関する実体験講和

右) 鳥獣被害対策実施隊員(市職員)による、被害拡大の原因と対策講座

▶ 16

事業の効果と展望

効果

- ▶ 継続して取り組んでいることで、少しずつ活動の認知や周囲の理解が進んできている。
- ▶ 高校の授業がきっかけで地元農協への就職を決めた子が！
- ▶ 講師を務めることで実施隊員の情報発信能力向上

展望

- ▶ より様々な年代へのアプローチ
- ▶ 実施隊員を通じ、円滑で具体的な事業要望吸い上げ

▶ 19

▶ ご清聴ありがとうございました



©浜松市

▶ 20